

事業番号	05 13 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課	
		実施期間	S22 ～	E-mail	yakuji @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

<p>1 医薬品等を適正に取扱い、使用するために、事業者の監視指導等を通じて医薬品等の品質・安全性を確保するとともに、不足する県内の薬剤師について実効的な取組が必要である。</p> <p>2 医療に必要な血液の安定した確保を図るとともに、少子高齢化が進展するなかで、将来の献血者数を確保するため、10～30代の若年層への啓発が必要である。</p> <p>3 依然として大麻・覚醒剤の薬物乱用は後を絶たず、特に若年層への薬物乱用が懸念される状況であるため、若年層に対する薬物乱用防止啓発の推進が必要である。</p> <p>4 新型インフルエンザの流行や地震等の災害時に備え、抗インフルエンザ薬や必要とされる医薬品、衛生資材を持続的に確保しておく必要がある。</p>

2 事業目的

<p>製造・販売される医薬品等の品質、有効性や安全性の確保、医薬品の適正使用及び違法な薬物等への対策、輸血用血液製剤等の確保及び、緊急時の医薬品等の体制整備などへの持続的な取組により、県民が安心して暮らすことができるようにする。</p>
--

3 事業目的を達成するための取組

<p>① 医薬品等の品質・安全性等の確保及び適正使用環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師の資質向上及び離職している薬剤師の復職に向けた研修会等の開催 ・薬局及び医薬品、医療機器等の製造業者、販売業者等の監視（薬事監視）の実施 ・製造業者等の資質向上研修会や医薬品適正使用に向けた知識啓発・普及への取組み ・かかりつけ薬局として患者に最も適した薬剤指導等を行えるようにするため、薬局薬剤師を対象とした実践的な研修を実施 ・原油・原材料価格の高騰に直面する薬局の安定的なサービスの提供を支援するため、光熱費等の価格高騰分の一部を助成 <p>② 若年層への献血啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の目に触れやすいバナー広告を利用した広報 ・プロスポーツチームとのタイアップによる観客への啓発 ・中学生・高校生からの献血推進ポスター募集 <p>③ 若年層への薬物乱用防止啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への薬物乱用防止意識啓発事業（高校生が薬物依存経験者の体験談を直接聞き、更に共に話し合う機会を設ける） ・薬物乱用防止指導員等による薬物乱用防止教室の実施 <p>④ 緊急時の医薬品等管理・供給体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザが発生した際に、感染拡大を防止するため県民に早急に配布する抗インフルエンザ薬の購入・備蓄 ・地震等の災害時に使用、必要とすることが多い医薬品や衛生材料の備蓄

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	薬事監視実施率	%	36.5	38.3	↗	36.4	↘	30	達成	医薬品医療機器等法による許可年限は5年もしくは6年が多く、定期的な監視として許可年限の中間時と更新時に行うこと（3年毎）を目標とした。	
②	献血目標達成率	%	100.6	95.3	↘	100.6	↗	100	達成	毎年策定される長野県献血推進計画に対する献血目標達成率を目標値とした。	
③	薬物乱用防止講座実施校数	校	65	55	↘	52	↘	60	未達成	若年層に対する啓発指標として、薬物乱用防止講座を、県内の高等学校の半数を毎年実施することを目標値とした。	
④	抗インフルエンザ薬備蓄目標量達成率	%	100	100	→	100	→	100	達成	国からインフルエンザの流行予測等から備蓄目標量が示されており、この量を備蓄できるよう目標値として設定した。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築											
1-6①	県民生活の安全確保											

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	0	64,643	178,330	242,973	23,403	225,146	15.6
R4年度	0	182,760	96,953	279,713	155,124	253,533	15.6
R3年度	14,297	85,038	55,069	154,404	92,487	135,625	15.6

事業番号	05 13 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進		部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課

7 主な取組実績と成果

① 医薬品等の品質・安全性等の確保及び適正使用環境整備

- ・薬学生、U・Iターン希望者、県外在住未就業薬剤師をターゲットにした就職・復職説明会をオンラインにより開催した。また、本事業について、新聞広告やホームページ、SNSなど各種媒体を用いて県内外へ広く広報した。さらに、未就業・復職間もない薬剤師向けに、自宅で都合の良い時間に学習できるよう、eラーニング形式による座学研修を実施し、復職に必要な最新の情報を提供した。
- ・（一社）上田薬剤師会へ委託して、「薬剤レビュー」の研修の開催に加え、実業務で「薬剤レビュー」を実施し、その効果検証と評価を実施した。
- ・薬局が原油価格等の高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう、光熱費等の価格高騰分の一部を1,897薬局に助成した。

② 若年層への献血啓発

プロスポーツチームとのタイアップによるサポーターへの献血啓発を4回実施し、128名の方に献血いただいた。また献血リーフレットの全高校生への配布(56,400部)、献血推進ポスターの募集及び啓発ポスターの県内の大型店舗やコンビニエンスストアでの広告並びに若年層の目に触れ易いバナー広告(10,030,486回表示)、全県立高校への訪問等による協力要請を実施した。この結果、県内高校での校内献血や献血セミナーが増加に転じるなど若年層への献血意識向上に向けた環境づくりを推進することができた。

③ 若年層への薬物乱用防止啓発

高校生、大学生等の薬物乱用防止意識を高めるため、薬物依存経験者の体験談を聞く講座を県内22校の4,882名に対して実施した。また、若い世代に対し、長野県薬物乱用防止指導員（373名）、保健福祉事務所職員等による講座を206回実施し、15,728名に対して啓発を実施した。受講した生徒からは、「薬物乱用の恐ろしさを学ぶことができた」「薬物に誘われた時の断り方について、今から考えておく必要性を感じた」等の感想が寄せられ、薬物乱用防止に対する効果的な意識啓発につながることができた。

④ 緊急時の医薬品等管理・供給体制の整備

「災害用医薬品等備蓄事業補助金交付要綱」に基づき、備蓄事業者2者に対し、備蓄状況を確認の上、補助金を交付した。備蓄目標量である286,200人分の抗インフルエンザウイルス薬（タミフルカプセル等全6品目）を備蓄した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	薬事監視実施率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	達成
必要な監視指導を着実に実施し、医薬品等事業者が適切に医薬品等を取り扱っているか、確認することができた。							
指標②	献血目標達成率	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
バナー広告を利用した広報など幅広い世代への献血啓発を実施し、目標とする献血者数を達成することができた。							
指標③	薬物乱用防止講座実施校数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の影響により、学校側が集合形式の講座実施を一部見合わせる等の影響を受けたことから、実施校数は52校と前年度同様に下回る結果（87%）となり、目標値の60校には届かなかった。							
指標④	抗インフルエンザ薬備蓄目標量達成率	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
備蓄目標量である286,200人分の抗インフルエンザウイルス薬（タミフルカプセル等全6品目）を備蓄できた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・監視の際に指摘した事項等を踏まえ、引き続き効果的かつ効率的な監視を実施し、医薬品の品質、有効性及び安全性を確保する必要がある。
- ・潜在薬剤師等を対象とした就職説明会、復職支援研修会について、ともに参加者を増やすために、周知の方法に工夫が必要。
- ・近年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から献血者確保が難しかったが、5類移行に伴う社会情勢を踏まえて、広く県民に献血の必要性に関する広報・啓発を推進していく必要がある。特に、これからの日本社会の人口動態を考慮すると、献血可能人口は減少すると推定されるため、将来の献血者数の確保に向け、若年層に向けた取組が必要である。
- ・全国の薬物事犯の状況を見ると、特に10代の大麻事犯が増加傾向にあり、引き続き若年層への薬物乱用防止に対する意識啓発を実施する必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・医薬品等の製造から販売までの各段階での許可業者の資質向上及び病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを推進する。
- ・長野県内の薬剤師を確保するため、就職説明会、復職支援研修会の参加者が増えるよう、早い段階から持続的な周知を行う。また、復職支援研修会については、休職者等に必要なコンテンツを検討し取り入れ、充実を図る。
- ・献血者の必要性に関する県民に向けた情報発信を積極的に行うとともに、将来の献血者数の確保のため若年層への献血意識向上に向けた広報資材の配布や学校訪問等を通じ、献血に触れ合う機会の提供や献血への理解を深める取組などを推進し、献血者数の増加につなげる。
- ・薬物乱用防止の講座について、薬物についての最新情報を取り入れる等、内容を充実を図り、講座の実施回数や啓発人数を増加させるとともに、一層の若い世代の薬物乱用防止意識の高揚を図るため、若年層の目に触れやすい音楽配信アプリ広告等を利用した幅広い広報に取り組む。

事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
-----	--------------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	医薬品等監視指導事業		11,766 千円	14,708 千円	18,654 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	許認可事務及び監視指導	直接	・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び取去試験）を実施 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施 監視指導を3,568件実施した。		
2	技術研修会	直接	医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会を実施 研修会を1回開催した。		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	医薬品等安全対策事業		428 千円	123 千円	126 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医薬品類似商品安全対策	直接	医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買（14品目）及び成分分析を実施 14品目の試買を行った。		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	医薬品適正使用・環境整備事業		3,147 千円	2,574 千円	7,665 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供を実施 使用促進啓発資料の作成を行い、県民への情報提供を実施した。		
2	医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	医薬品等業務上取扱者への指導及び消費者への啓発等のため、関係書籍の購入を実施 最新の書籍等を整備し、医薬品等業務上取扱者への指導を実施した。		
3	かかりつけ薬局の機能向上推進事業	委託	「薬剤レビュー」の研修の開催に加えて、実業務で「薬剤レビュー」を実施し、その効果検証と評価を実施 （一社）上田薬剤師会に事業を委託して実施した。		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	医薬品取扱費	25,225 千円	137,042 千円	1,072 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	国有ワクチン類の備蓄・供給	直接	国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施 乾燥ボツリヌス毒素（ABEF型）県下2か所、乾燥ボツリヌス毒素（E型）県下1か所、乾燥ガスエソウマ抗毒素県下4か所に備蓄した。	
2	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	直接	新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施 286,200人分の抗インフルエンザウイルス薬（タミフルカプセル等全6品目）を備蓄した。	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	災害用医薬品等対策費	871 千円	880 千円	851 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	医薬品及び衛生材料の確保	補助金 直接	・災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施 ・薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備 2者に補助を行った。	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	献血普及啓発事業	3,531 千円	3,666 千円	3,721 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	啓発及び体験機会の提供	委託 直接	・若年層の目に触れ易いバナー広告を利用した広報 ・若年層対象にポスター募集やプロスポーツチームとタイアップした啓発 ・幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 ・気軽に体験できるように献血場所を提供 ・関係団体等と連携（献血推進協議会開催、献血推進員（40人）による啓発） 献血体験キャンペーンの実施（県内4箇所）	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	菅平薬草栽培試験地管理事業		2,544 千円	3,253 千円	16,437 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	菅平薬草栽培試験地管理事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保 日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託 薬草に関する正しい知識の普及のための研修会を1回開催した。		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	薬物乱用防止啓発事業		2,127 千円	2,060 千円	2,249 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施 県下15ヶ所にて、街頭キャンペーンを実施した。国連支援募金結果1,322,665円		
2	薬物乱用防止指導員の活動	直接	地域での薬物乱用防止啓発推進のため、薬物乱用防止指導員を設置 薬物乱用防止指導員373名に活動を依頼し、のべ36,681人に対して薬物乱用防止に関する啓発を実施した。		
3	薬物乱用防止意識啓発	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 大学、専修学校、各種学校の学生指導担当者を対象に研修会を実施 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施 高等学校での薬物乱用防止教室を20回実施し、4,758人が受講した。		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
9	毒物劇物安全対策費		983 千円	1,103 千円	851 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業者等の登録・許可等の電算処理を実施 毒物劇物営業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施 毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施 毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施 危害防止運動2回実施、研修会1回実施		
2	空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填及び法令の規定による耐圧試験を実施 保守点検・空気の充填11か所・18本実施、耐圧試験4か所・6本実施		
3	毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施 7か所6品目の備蓄を補助		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）		2,668 千円	2,534 千円	2,790 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬剤師を活用した在宅医療研修会	補助金	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施 1者に840千円の補助を行った。		
2	薬剤師復職・就業支援事業	補助金	病院・薬局等における薬剤師の適正な配置を確保するため、潜在薬剤師等の復職・就業支援事業を実施 1者に1,950千円の補助を行った。		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
11	薬局価格高騰対策支援事業		- 千円	85,590 千円	170,730 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬局価格高騰対策支援事業	交付金	薬局が原油価格等の高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう、光熱費等の価格高騰分の一部を助成 1,897薬局に助成を行った。		